



旧岩淵水門 荒川放水路

旧岩淵水門は8年、荒川放水路は19年の歳月をかけて建設され、荒川下流域を洪水から守ってきました。工事監督はパナマ運河建設に携わった青山士です。現在は下流の青い岩淵水門が、水門としての役割を果たしています。

志茂5先
国土交通省荒川下流河川事務所
問03-3902-2311



北区産業遺産ガイドマップ



紙の博物館 所蔵「古今東京名所 飛鳥山公園地王子製紙会社」明治16年

歩いて出会う北区の名品

<p>I 赤いダイヤ</p> <p>趣味の和菓子喜屋 赤羽1-19-3 問03-3901-4712</p>	<p>J 塩大福</p> <p>伊勢屋 赤羽1-20-5 問03-3901-4970</p>	<p>K おでん種</p> <p>丸健水産 赤羽1-22-8 問03-3901-6676</p>	<p>L 肉まん</p> <p>セキネ赤羽店 赤羽1-11-1 問03-3902-0011</p>
--	---	---	--

◎JR 赤羽駅～旧岩淵水門 荒川放水路へ向かう



◎赤水門コース
JR赤羽駅東口→旧岩淵水門(赤水門)
→荒川知水資料館(amoa)→JR赤羽駅東口

近代化産業遺産とは

平成19・20年度に、経済産業省は、日本の産業の近代化に大きく貢献した建造物や機械等を「近代化産業遺産」として認定し、地域史・産業史の観点から66のストーリーにまとめています。北区には2つのストーリー、6か所の施設が認定されています。



北区近代化産業遺産ストーリー
洋紙の国内自給を目指し、北海道へと展開した、製紙業の歩みを物語る近代化産業遺産群として、区内5つの施設が平成19年度に認定されました。

北区近代化産業遺産ストーリー
国土の安全性を高め都市生活や産業発展の礎となった、治水・砂防の歩みを物語る近代化産業遺産群、各地の川に関する堤防や発電所等の遺産とともに平成20年度に認定されました。

1. 国立印刷局王子工場(お札と切手の博物館)
2. 紙の博物館
3. 渋沢史料館
4. 東書文庫
5. 国立印刷局東京工場(旧 滝野川工場)

北区の近代化産業遺産の歩み

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1873(明治6年) | 抄紙会社創立(のちの王子製紙) |
| 1876(明治9年) | 紙幣寮抄紙局 工場(現 国立印刷局王子工場)設置 |
| 1879(明治12年) | 印刷局抄紙部 配合分科(稲わらパルプ工場)設置 |
| 1882(明治15年) | 製紙会社(抄紙会社より改称) 稲わらパルプ工業化に成功 |
| 1904(明治37年) | 教科書の国定化 |
| 1909(明治42年) | 東京書籍設立 |
| 1917(大正6年) | 晩香蘆竣工 |
| 1924(大正13年) | 岩淵水門竣工(技術者:青山士) |
| 1925(大正14年) | 青淵文庫竣工 |
| 1930(昭和5年) | 荒川放水路完成(技術者:青山士) |
| 1931(昭和6年) | 印刷局 滝野川工場(現 東京工場)設置 |
| 1936(昭和11年) | 東京書籍株式会社附設 教科書図書館 東書文庫公開 |
| 1950(昭和25年) | 製紙記念館(紙の博物館の前身)設立 |
| 1998(平成10年) | 紙の博物館 飛鳥山公園内に新館オープン |

●JR王子駅、上中里駅～5つの産業遺産をめぐる

◎都電コース

JR王子駅中央口→洋紙発祥の地碑→お札と切手の博物館→東書文庫→都電堀原停留場



国立印刷局 王子工場

(お札と切手の博物館)

お札や切手の製紙工場として明治9年に操業開始した王子工場は、現在は印刷工場として切手などの製造を行っています。工場見学はできませんが、正門横の「お札と切手の博物館」で、お札や切手の歴史や技術を紹介しています。



王子1-6-1 問03-5390-5194
料:無料/開館9:30~17:00/月休(祝日の場合翌平日)・年末年始休(臨時休館有)

紙の博物館

わが国の洋紙発祥の地・王子に設立された、世界有数の紙専門の博物館。紙の歴史や製造工程などをわかりやすく学べます。紙に関する企画展やハガキ作りを楽しむ「紙すき教室」、各種イベントも随時開催しています。



王子1-1-3 問03-3916-2320
料:一般300円 小中高100円 団体(20名以上)一般240円 小中高80円/開館10:00~17:00/月休(祝日の場合開館)・祝日直後の平日は休館・年末年始休(臨時休館有)

渋沢史料館

日本の近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の事績と思想を紹介する博物館。隣接する旧渋沢庭園に残る大正建築「晩香廬(ばんこうろ)」「青淵文庫(せいえんぶんこ)」の内部も公開しています。



西ヶ原2-16-1 問03-3910-0005
料:一般300円 小中高100円 団体(20名以上)一般240円 小中高80円/開館10:00~17:00/月休(祝日の場合開館)・祝日直後の平日は休館・年末年始休(臨時休館有)



◎飛鳥山コース

JR王子駅中央口→洋紙発祥の地碑→紙の博物館→渋沢史料館→国立印刷局東京工場(旧 滝野川工場)→JR上中里駅



東京書籍株式会社附設 教科書図書館

東書文庫

昭和11年に設立された日本初の教科書図書館。鎌倉時代から現代の教科書まで約16万点を所蔵し、そのうち76,420点が国の重要文化財に指定されています。展示室では江戸時代から各時代の教科書を展示中。

栄町48-23 問03-3927-3680
料:無料※予約制、閲覧者・展示室見学者は電話にて予約/土・日・祝日・年末年始休(臨時休館日はHP上に掲示)



国立印刷局 東京工場 (旧 滝野川工場)

昭和6年に設置され、平成26年4月に官報等製品を製造する虎の門工場と統合し「東京工場」と名称を変更しました。国立印刷局の中心的工場として、日本銀行券・官報等製品・諸証券類の製造を行っています。

西ヶ原2-3-15 問03-5567-1102
料:無料 【工場見学】毎週火・木
①10:00~②13:40~(各40名)
※事前予約が必要(希望日の2カ月前の初日から2週間前まで)

歩いて出会える北区の名品

A 扇屋の厚焼玉子 <p>王子扇屋 岸町1-1-7 問03-3907-2567</p>	B 豆大福 <p>平塚亭つるをか 上中里1-47-2 問03-3915-0277</p>	C 都電もなか <p>菓匠明美 堀船3-30-12 問03-3919-2354</p>	D パン各種 <p>ペーカリー明治堂 王子1-14-8 問03-3919-1917</p>
E 久寿餅 <p>石鍋商店 岸町1-5-10 問03-3908-3165</p>	F 狸最中 <p>和菓子 狸家 王子本町1-23-1 問03-3908-3004</p>	G 甘納豆 <p>関の甘納豆 滝野川2-7-7 問03-3910-2693</p>	H おうじロール <p>ランギヤール 王子本町1-18-9 問03-5924-0422</p>

「近代化産業遺産施設」に関連する史跡

I 洋紙発祥の地碑

(王子1-4-1)

日本の洋紙産業がここから始まったことを記念し建設されました。台座は羊皮紙にちなんで羊のデザインを、碑文は巻取紙を表しています。

II 王子製紙株式会社 王子工場跡地

(王子1-4-1)

現在の王子駅付近。

『王子製紙株式会社案内』(昭和11年)

III 熊谷源左衛門君碑

(王子1-1先※音無橋下)

熊谷源左衛門は用水や用地の調停に奔走し、抄紙会社をこの地に誘地しました。ここには、彼の業績を記した碑が残されています。

IV 重要文化財・旧醸造試験所第一工場

(滝野川2-6-30※醸造試験所跡地公園)

紡績所と同様、抄紙会社や大蔵省の製紙場も千川用水を利用しました。のちに国指定重要文化財となる醸造試験場ができました。